

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

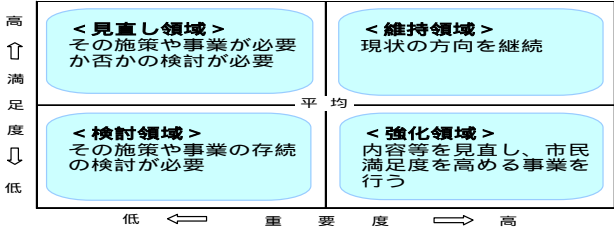
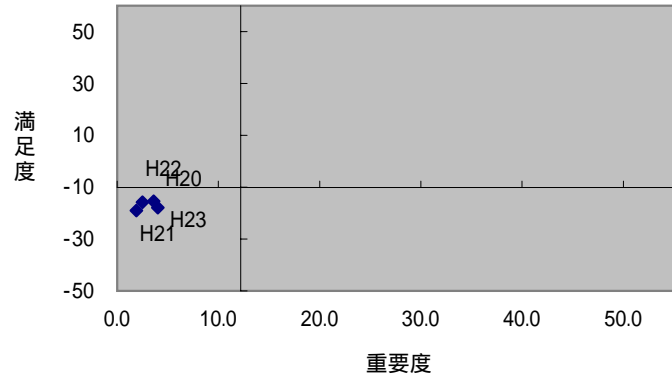
施策名 (小項目)	林業	コード	作成者	役職	農林水産課長
		04-01-02	氏名	横山雅一	
			電話	0869-64-1831	
			このシート作成に要した時間	6.0 時間	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	基本施策(中項目)	豊かな食を支えるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	森林所有者や地域住民に対し、森林整備や治山事業を行い、良質な水資源の安定的な供給や山地災害の防止と住民の憩いの場の提供を計る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	人工林は各地に分散しており施業の共同化行いにくい。 人工林のほとんどが若齢林で将来の伐採期に備え、適切な保育施業の必要がある。 林業に対する関心の希薄化と後継者不足、林業労働者の高齢化及び森林の荒廃が問題である。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道の整備を図る。</li> <li>治山事業の推進を図る。</li> <li>造林事業の推進を図る。</li> <li>森林組合などへの支援を行う。</li> <li>有害鳥獣駆除の推進を図る。</li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)	3.6	1.9	2.5	4.0
満足度(%)	- 15.4	- 19.0	- 15.8	- 17.9



調査結果に対するコメント、市民の反応等	山地災害の防止、生活環境の保全及び身近な自然とのふれあいの場としての森林の持つ重要性は高まっているが、重要度、満足度は共に低い。観光施設とか歴史的史跡などと組み合わせ市民に親しまれ、容易に行くことのできる散策コースや憩いの場、レジャー施設等があれば良いと考えます。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 林道整備延長	目標	m	134.0	529.0	128.0	H23	90.0
	実績	m	134.0	529.0	136.0	H28	100.0
	達成率	%	100.0	100.0	106.3	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 有害鳥獣による農作物被害面積	目標	a	200.0	200.0	200.0	H23	200.0
	実績	a	184.0	163.0	723.0	H28	200.0
	達成率	%	92.0	81.5	361.5	-	-
	ベンチマーク						
参考指標	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク					-	-
参考指標	目標					H23	
	実績					H28	
	達成率	%				-	-
	ベンチマーク					-	-

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)										施策への 貢献度	
				平成20年度				平成21年度			平成22年度				平成23年度
				直接 事業費	人件費	人工数	当 初予算 (直接事業費)	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数		当 初予算 (直接事業費)
1 治山林道整備事業	C	小規模林道整備事業	補助	9,604	2,769	0.44	15,416	2,111	0.28	6,522	3,562	0.49	2,210		
		閑谷の森管理運営事業	単市	-	-	-	-	-	-	0	0	0.00	0		
		単独事業	単市	0	703	0.10	1,412	1,675	0.21	0	603	0.07	2,500		
		林道維持管理事業	単市	5,888	2,013	0.23	4,948	2,150	0.26	4,656	1,693	0.18	3,722		
		県治山林道協会負担金	単市	124	0	0.00	179	9	0.00	117	0	0.00	235		
		備前地区治山林道協会負担金	単市	210	182	0.02	265	32	0.00	171	0	0.00	400		
		治山施設維持管理事業	単市	0	107	0.01	0	23	0.00	0	213	0.02	0		
		生活環境保全林管理事業(備前)	単市	2,784	680	0.08	1,491	120	0.01	1,491	247	0.03	1,500		
2 森林普及振興事業	C	水源林整備事業	補助	399	200	0.02	399	112	0.01	399	209	0.02	400		
		林政事業	単市	0	1,189	0.12	4,016	1,834	0.19	464	502	0.05	400		
		森林整備計画等事務	単市	0	158	0.02	0	70	0.01	0	0	0.00	0		
		森林管理巡視事業	単市	567	261	0.03	0	129	0.01	567	0	0.00	567		
		森林総合利用施設管理運営事業(吉永)	補助	0	93	0.01	0	367	0.04	1,300	0	0.00	1,320		
		保健保安林管理事業(吉永)	単市	50	93	0.01	0	34	0.00	50	0	0.00	50		
		松くい虫予防事業	補助	491	308	0.04	445	634	0.07	484	1,953	0.20	456		
		森林整備地域活動支援交付金	補助	5,177	100	0.01	5,177	130	0.01	5,159	100	0.01	5,160		
		森林組合助成金	単市	405	100	0.01	406	80	0.01	405	0	0.00	405		
		三国地区財産区管理事業特別会計繰出金	単市	149	0	0.00	-	-	-	128	0	0.00			
		緑の少年隊活動奨励金	単市	15	0	0.00	12	19	0.00	20	0	0.00	30		
		県緑化推進協会会費	単市	120	0	0.00	120	0	0.00	120	0	0.00	120		
		県林業改良普及協会東備支部負担金	単市	6	0	0.00	2	0	0.00	2	0	0.00	3		
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度								
				28,108	12,063	1.51	36,489	14,100	1.61	24,330	15,702	1.77	24,735		

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	森林保全は、木材の生産にとどまらず、環境保全に大きく貢献していることから、森林を保全するための林道整備等事業実施は妥当であると考えます。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	事業構成は、森林を守り、災害や環境保全を目的とした内容の事業であり、国・県との連携を密にした事業内容であるため、適当と考えております。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	山地災害防止からも必要な施策であり有効と考えます。	
進行年度(H23年度)の取組内容 (課題解決状況)		森林保全のため、今後も事業投資が考えられますが、地域の要望、緊急度等を考慮し、事業を推進してまいります。	
翌年度(H24年度)の取組目標		林業維持管理事業については現状維持をすること。 生活環境保全林の維持管理は、管理団体の地元住民と良く協議し、投資効果も考えながら対応すること。	
二次評価者コメント 役職 産業部長 氏名 竹林幸一		美作市、赤磐市、備前市の3森林組合の合併が推進される中で、経営基盤の強化、森林資源の有効活用が図られると考えます。林業は防災、環境保全の面からも重要であり、引き続き近隣市町とも協力しながら森林の保護・活用を進めてください。	
		基本施策への 貢献度	3 中立

